

# 平成 26 年度「がんの教育総合支援事業」について

## 1 事業の実績

### (1) 事業実施内容

#### ①がんの教育に関する協議会の構成員

名 称：鹿児島県「がんの教育総合支援事業」連絡協議会
委 員：12 人 (内訳：医師 1 人, 保健所所長等 1 人, がん経験者 1 人, 教諭代表 2 人, 養護教諭代表 2 人, 市教育委員会 2 人, 保健福祉部 1 人, 県義務教育課 1 人, 県保健体育課長 1 人)
事務局：5 人 (内訳：健康教育係長 1 人, 健康教育係指導主事 4 人)

#### ②がんの教育に関する計画の内容

1 「がんの教育総合支援事業」連絡協議会（以下「連絡協議会」とする。）の開催 医療関係者，学校関係者，PTAその他行政関係者からなる連絡協議会を設置し，県内の実情を踏まえ，がんの教育の推進を図るための「がんの教育に関する計画」の作成に対し指導・助言を行う。
2 がんの教育推進モデル地域の指定 がんの教育を推進する重点地域として，県内 2 地区（鹿児島市，薩摩川内市）を指定し，がんの教育を推進する取組を実施させ，その成果や課題について検証する。
3 事業における取組の普及 ・第 11 回県健康教育研究大会において研究発表を行う。 ・鹿児島県教育委員会のホームページで公開する。

#### ③がんの教育に関する協議会の実施日程

実施時期	実施事項	備考
11 月	第 1 回連絡協議会（がんの教育に関する計画の検討）	出席者 11 人
2 月	第 2 回連絡協議会（がんの教育に関する計画の成果・課題）	出席者 11 人

#### ④がんの教育の推進に向けた取組

##### ア具体的な取組

	実施事項
11 月 17 日	1 第 1 回鹿児島県「がんの教育総合支援事業」連絡協議会
2 月 13 日	2 「がんの教育総合支援事業」普及・啓発活動 第 11 回鹿児島県健康教育研究大会における推進モデル地域の実践発表 (全体会出席者：713 人 教諭，養護教諭，栄養教諭，校長・教頭，幼稚園・保育園関係者，給食センター職員，PTA 会員，指導主事，医師等)
2 月 23 日	3 第 2 回鹿児島県「がんの教育総合支援事業」連絡協議会

### ⑤取組における成果及び成果の普及

- 1 再委託先の鹿児島市，薩摩川内市においては，短い事業期間にあつて授業実践を通じた密度の濃い研修を進めることができた。（成果・課題については後述）
- 2 連絡協議会では，医師，保健所長等の有識者による専門的見地からの助言をいただくことができた。とりわけ，NPO法人がんサポートかごしま理事長からは，がん患者の視点から大変貴重な御意見等をいただくとともに，命の授業に関する様々な情報提供（参考資料参照）がなされ，再委託先における事業推進の一助となった。
- 3 県内全域から健康教育関係者が集まる「第11回県健康教育研究大会」の全体会に，再委託先による研究発表を位置付け，「がんの教育」の普及・啓発を図ることができた。

### ⑥今後の課題

- 1 「がんに対する正しい理解」，「がん患者に対する正しい認識」，「命の大切さに対する理解」について，どの学年でどの内容をどの程度学習させるのか，小・中・高等学校段階の発達の段階に応じた教育カリキュラムの構築（指導内容の重点化）
- 2 学校医をはじめとする医師や看護師，がん患者等の外部講師との連携（学習内容の吟味，人材確保等）
- 3 各種会議や研修会，広報誌，ホームページ等を活用した「がん教育」に対する普及・啓発

## （2）がんの教育の重点地域での実践

### ①指定された地域名

**指定された地域名** 鹿児島市（モデル校：鹿児島市立南小学校，鹿児島市立伊敷中学校）  
薩摩川内市（モデル校：薩摩川内市立隈之城小学校，薩摩川内市立川内南中学校）

### ア鹿児島市における具体的な取組（鹿児島市）

月 日	具 体 的 な 取 組 内 容
8月20日	<b>【鹿児島市教育委員会】</b> 1 保健担当者等に対してがんに関する教育の講演会 保健担当者等研修会において，「がんに関する教育」についての今後の方向性やがんサポート鹿児島による「いのちの授業」の実際について等が んの教育の推進のための講演会を行った。【参加人数：教職員150人】
10月22日	2 第1回がんに関する教育検討委員会
2月25日	3 第2回がんに関する教育検討委員会 ※ モデル校の取組をまとめ，冊子で各学校に配布予定
10月15日	<b>【鹿児島市立南小学校】</b> 1 事前打合せ会 校長，6年生担任（3人），保健主任，養護教諭，がんサポート鹿児島， 鹿児島市教委

10月16日 20日	2 第1時授業実践 内 容 がんに関する正しい知識 授業者 担任と養護教諭, 担任, 保健主任, 養護教諭とのTT
10月29日	3 第2時授業実践 内 容 がんに関する知識の深化, いのちの大切さについて 授業者 「いのちの授業」がんサポート鹿児島と担任とのTT
2月10日	4 保護者への講演会(学校保健委員会)
<b>【鹿児島市立伊敷中学校】</b>	
1月7日	1 がんに関する教育事前打ち合わせ会 保健主任, 養護教諭, 2年部職員全員, がんサポート鹿児島, 市教委
2月5日	2 保護者への講演会(家庭教育学級)
2月13日	3 第1時授業実践 内 容 がんに関する知識といのちの授業 授業者 「いのちの授業」がんサポート鹿児島とのTT授業
2月19日	4 第2時授業実践 内 容 がんに関する正しい知識 授業者 保健主任, 学年主任, 担任, 保健体育科のそれぞれの立場の 教諭が実施

### ⑤ 取組における成果

- 1 検討委員会等により, がんに関する教育の目標や内容等について確認することができ, 鹿児島市としての方向性を持つことができた。
- 2 がんに関する教育について研修会などで教職員に周知することができた。
- 3 モデル校の取組をまとめ, がんに関する教育の内容や進め方などを各学校に周知することができた。

### ⑥ 今後の課題

- 1 今後のがんに関する教育の方向性を把握していく必要がある。
- 2 がんに関する教育の実施について, 継続して職員等に周知をしていく必要がある。
- 3 がんに関する教育を実施していくために, 目標や内容, 授業形態等をさらに検討していく必要がある。
- 4 がんに関する教育を推進していくための教材が必要である。

## イ薩摩川内市における具体的な取組

	実 施 事 項
11月13日	<p><b>【薩摩川内市教育委員会】</b></p> <p>1 第1回がんの教育推進検討会（参加者12人）</p> <p>(1) 文部科学省及び鹿児島県の「がんの教育総合支援事業」に関する共通理解</p> <p>(2) 薩摩川内市における実施要領について確認</p> <p>(3) 実施校における取組計画について共通理解</p> <p>(4) 各委員による専門的見地からの情報提供</p>
1月30日	<p>2 第2回がんの教育推進検討会（参加者12人）</p> <p>(1) 隈之城小学校「いのちの授業」実施後の意見交換</p> <p>(2) 授業者との意見交換</p> <p>(3) 実施校の取組の中間報告</p>
2月13日	<p>3 第11回鹿児島県健康教育研究大会での研究発表</p>
2月17日	<p>4 薩摩川内市小・中学校養護教諭等研修会での普及啓発（参加者55人）</p> <p>(1) 実施校の取組の概要紹介</p> <p>(2) 実施校の成果や課題について</p> <p>(3) 本市における今後の取組について</p>
2月18日	<p>5 薩摩川内市小・中学校教頭研修会での普及啓発（参加者49人）</p> <p>(1) 実施校の取組の概要紹介</p> <p>(2) 実施校の成果や課題について</p> <p>(3) 本市における今後の取組について</p>
2月24日	<p>6 第3回がんの教育推進検討会（参加者12人）</p> <p>(1) 実施校における取組のまとめ（成果や課題）</p> <p>(2) 実施校における今後の取組について</p> <p>(3) 本市における今後の取組について</p>
11月19日	<p><b>【薩摩川内市立隈之城小学校】</b></p> <p>1 研究発表会への参加（隈之城小学校教諭（検討会委員））</p> <p>(1) 武雄市立川登中学校「がんの教育」研究発表会</p> <p>(2) 公開授業の参観</p> <p>(3) 講演会参加 独立行政法人国立がん研究センター 片野田 耕太先生</p>
1月30日	<p>2 「いのちの授業」公開（隈之城小学校）</p> <p>(1) NPO法人がんサポートかごしまとの連携</p> <p>(2) ゲストティーチャー3人による6年生児童を対象とした授業</p>

	(3) 参加者（保護者 32 人 検討会委員 12 人）
11 月 28 日	<p>【薩摩川内市立川内南中学校】</p> <p>1 研究先進地研修（川内南中学校教諭（検討会委員））</p> <p>(1) 豊島区教育委員会 豊島区立目白小学校 豊島区立巣鴨北中学校</p> <p>(2) 取組の経緯と現状</p> <p>(3) 年間指導計画や活用できる教材</p>
1 月 19 日	<p>2 川内南中学校職員研修の実施</p> <p>(1) NPO 法人がんサポートかごしまから講師の招聘</p> <p>(2) 授業を行う際の配慮事項等</p>
2 月 6 日	<p>3 「命の大切さやいじめ問題を考える授業公開」においてがんをテーマにした道徳の授業公開</p> <p>(1) がんをテーマにした道徳の授業公開（2 年 2 学級 3 年 1 学級）</p> <p>(2) 講演会の実施 講師：厚生労働省がん対策推進協議会委員 阿南 里恵先生</p> <p>(3) 参加者（本市内各学校 53 人 本市検討委員 7 人）</p>

### ⑤取組における成果

<p>(1) 「がんサポートかごしま」との連携・協力により、がん教育の推進に向け教職員の意識を喚起し、取組を実践することができた。</p> <p>(2) これまで、隈之城小学校で行われていた取組を踏まえて、子供たちが進学する川内南中学校でもがん教育を推進していこうとする基盤が醸成された。</p> <p>(3) 川内南中学校では、来年度の保健体育と道徳の年間指導計画にがん教育に関連する内容を位置付け、相互に補完しながら学習を深める計画を立てることができた。</p> <p>(4) がん教育推進にあたり、その本質やねらい、取り扱う視点等について、教職員の研修が行われ、課題や疑問点を整理することができた。</p> <p>ア 「がんに対する正しい理解」をどのようにとらえたらよいのだろうか。</p> <p>イ 「がん患者に対する正しい認識」をどのようにとらえたらよいのだろうか。</p> <p>ウ 喫煙や生活習慣病といった内容から健康の保持増進と疾病予防について健康教育に取り組んでいるものの、「がんそのものやがん患者に対する理解を深める教育」については、教科・領域をこえて横断的な取組が必要になってくるのではないだろうか。 (教科（保健体育）と道徳指導との関連)</p> <p>エ 全職員で取り組むためには、年間指導計画への位置付けや学習内容について共通理解を図ることが非常に大切である。学習のねらいや目的、取り扱う内容等について、先進事例等を参考にしながら整理する必要がある。</p> <p>オ がんで親族を亡くした児童生徒がいる場合、どのような配慮が必要か非常に大きな戸惑いや不安がある。</p> <p>カ 保護者の理解をどのように求めていけばよいのだろうか。</p>
--

## ⑥今後の課題

- (1) がん教育については、今後「いのちを大切にすることを育むがん教育」といった視点でとらえ、各学校での取組を推進していく。
- (2) 本市の各学校に対し、がんサポートかごしまの取組を紹介し、「薩摩川内元気塾」等における講演会の実施など、がん教育の基盤を醸成する取組を推進していく。
- (3) 先進校等の研修から得た授業を行う上で参考資料を整理し、授業者が安心して授業を行うことができる教材や授業計画のモデルを示していく。
- (4) 管理職研修会や道徳担当者研修会、養護教諭研修会等で、がん教育について啓発していく必要がある。